


# 池間大橋開通22周年記念 グラウンドゴルフ大会開催



すまだてい  
だより

発行者  
NPO 法人いけま福  
祉支援センター  
電話：75-2870

池間大橋開通二十二周年を祝って、島人が一同に会して体を動かしながら楽しむことで島を元気にしようとして、大橋開通二十二周年記念・グラウンドゴルフ大会」が、二月二十三日（土）に開催されました。いけま島おこしの会主催で、体育協会や在平良池間郷友会の若手のみなさんが炊き出しの準備をしてくださいました。

この日は晴天に恵まれ、汗ばむほどの陽気。熱戦の後はおいしいカツオ汁とおにぎりがふるまわれました。

今回は、食器乾燥機やトスターなど、豪華な商品も準備されました。ホールインワン賞は定番のティッシュです。最後に結果発表が行われ、優勝者には自治会長から賞品が贈呈されました。

結果は、優勝：善平サダさん、



二位：川上トシさん、三位：西里テルコさん、ブービーは、砂川亮さんでした。池間大橋開通記念としていけま島おこしの会がイベントを企画したのは今回が初めてでしたが、今後もう少し、島を元気にするために必要なことはなにか、シマ全体で考え、行動する島おこし活動を展開していきたいと思えます。

## 池間幼小中学校 卒業式

三月十一日

日、池間幼稚園・小学校・中学校の卒業式が行われました。



平良忠嗣さん、浜川平和さんの2名が幼稚園を卒業し、平良尚也さん、具志堅智希さん、浜川華林さん、佐久本鈴さん、平良樹菜さんの5名が小学校、勝連健人さん一人が中学校を卒業しました。健人さんは、池間中学校65期、2030人目の卒業生となりました。ご卒業、おめでとうございます。

## 今月の行事予定

- 3月20日(木) ヒダガンニカイ
- 4月2日(水) サニツ
- 4月7日(月) 池間幼小中学校入学式
- 4月20日(日) トライアスロン宮古島



# よみがえりの種を播こう 〜ウツマミ(下大豆)の種まき〜

三月四日(火)、県立宮古総合実業高校のみなさんが来島し、よみがえりの種を播こう〜ウツマミの種まき〜に参加してくれました。この日参加してくださったのは、農業クラブに所属する生徒さんたち九名。

今回の先生は前泊勤さん(八十九歳)。勤さんの指導のもと、高校生たちも種まきを開始しました。

「種まきは旧暦二月(立春がきたらすべ)、収穫は旧暦十月ごろ、葉が黄色く枯れてきたら鎌で根本から刈り取る。それまでの間、水や肥料は与えず、草が出たら抜く。病気にはならないよ」と育て方もならいきました。

今回播いて残った種を、学校の農場にも持ち帰



って栽培してみたい、という声も生徒から聞かれました。このような在来作物を通じて、原風景の復活、特産品づくりへと繋げていきたいと考えています。



## シマ学校で本格的 お豆腐づくりに挑戦

現在六十代の方々が子どもの頃まで、池間島には豆腐屋が三軒あり、朝早くから鍋をもって豆腐やアマノ(豆乳)を買いにいったというお話を聞きます。

今回は、先日復活したばかりの石臼を使って、昔ながらの方法で豆腐づくりに挑戦しました。豆腐づくりの先生は、シマ学校(いきいき教室)のみなさんです。さらに、今回は沖縄国

際大学から人間福祉学科 地域福祉専攻のゼミ生七名と先生が民泊で来島してくださったので、一緒に参加していただきました。

一晩吸水させた大豆を、石臼でひいていきます。若者が悪戦苦闘するのを見かねて、中原ソヘ子さんがお手本を見せてくれました。挽いた大豆の汁を、今度はさらしの布袋で漉して絞り、豆乳とおからにしています。これも重労働。豆乳を薪で沸かし、海水を投入。しばらくそのまま加熱すると、次第に豆乳が分離して豆腐がかたまってきました。

ふわっとやわらかく、大豆の甘みとほんのり塩味のするやさしい味のゆしどうぶが出来上がりました。評判も上々。池間で豆腐屋の開業も夢ではありません。

